Nittobo

尿中アルブミン測定用試薬

ー 免疫比濁法 ー

N-アッセイ

TIA Micro Alb

ニットーボー

E-Type

【特　長】

① 低域から高域まで良好な同時再現性と直線性を有します。

② 抗血清が充分に含まれているので、抗原過剰による地帯現象が起こりにくくなっています。

ニットーボーメディカル 株式会社

N-アッセイ TIA Micro Alb ニットーボー E-Type

はじめに

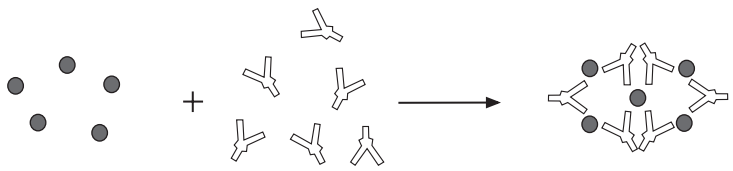
血中のアルブミンは、腎糸球体の濾過機能によりほとんど尿中には排泄されません。しかし、糸球体の機能に障害が生じた場合は、その初期より試験紙法では、陰性と判断されながらも、明らかに正常範囲を越えて尿中アルブミンが観測されます（Micro-albuminuria）。特に糖尿病においてこの尿中微量アルブミン排泄量の増加をきたした症例では、将来的に治療の困難な糖尿病性腎症への移行確率が高いものと報告されております。その為、尿中微量アルブミン量の測定は、糖尿病性腎症の早期診断、治療方針の選択に有用なものと考えられております。
本法は、この免疫比濁法であり、試薬の安定性や操作性に優れ、自動分析用として測定時間が短縮されております。

特長

1. 低域から高域まで良好な同時再現性と直線性を有します。
2. 抗血清が充分に含まれているので、抗原過剰による地帯現象が起こりにくくなっています。
3. 測定範囲が広いため、再検査の割合を下げることができます。
4. ロット間差が少ない製品です。
5. 共存物質の影響はほとんどありません。
6. 各種自動分析装置へ適応が可能です。

測定原理

試料に抗ヒトアルブミンヤギ血清を混合し、アルブミンと抗体の結合物を濁度として 340nm および 700nm の波長において測定し、試料中のアルブミンを定量します。

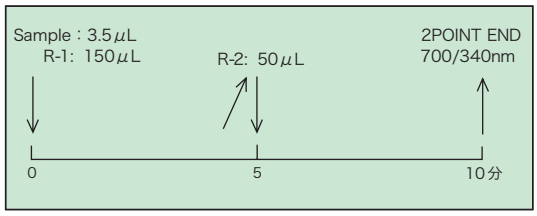


自動分析装置への適用例

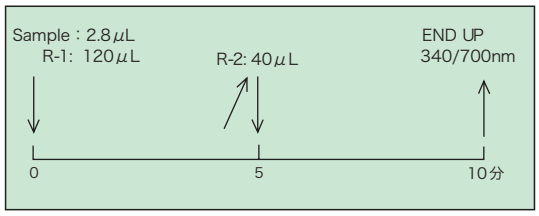
各種自動分析装置への適応は、別途パラメーターをご請求ください。

【ダイアグラム例】

日立 7180 形



東芝 TBA2000FR 形



参考データ

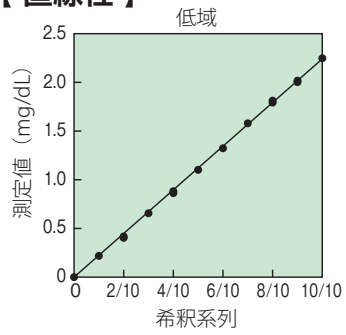
自社、日立 7180 形にて多点検量線より測定

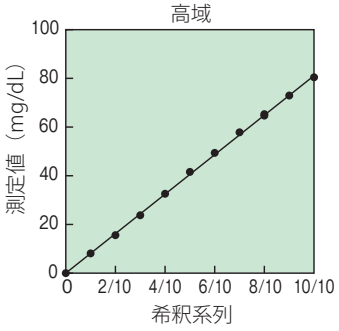
【同時再現性】

単位：mg/dL

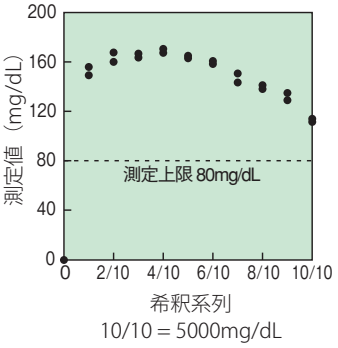
No.	Micro Alb コントロールⅠ	Micro Alb コントロールⅡ
1	2.23	5.20
2	2.26	5.21
3	2.26	5.18
4	2.27	5.14
5	2.26	5.22
6	2.24	5.14
7	2.25	5.14
8	2.22	5.20
9	2.26	5.18
10	2.20	5.15
11	2.25	5.21
12	2.26	5.22
13	2.24	5.18
14	2.25	5.16
15	2.25	5.18
16	2.25	5.07
17	2.26	5.19
18	2.25	5.16
19	2.24	5.18
20	2.20	5.12
平均値	2.245	5.172
最大値	2.27	5.22
最小値	2.20	5.07
範囲	0.07	0.15
データ数	20	20
標準偏差	0.019	0.037
変動係数	0.86%	0.72%

【直線性】

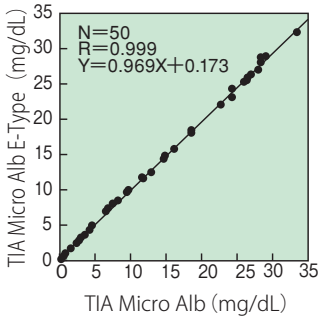




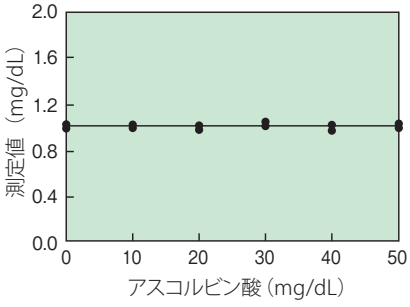
【抗原過剰域】

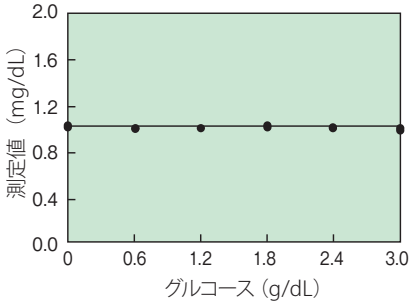


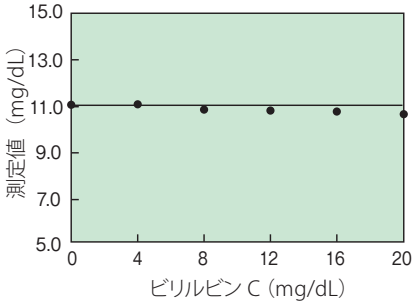
【相関性】

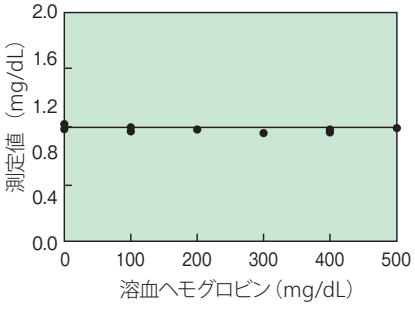


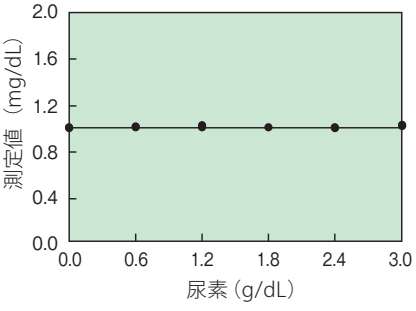
【共存物質の影響】

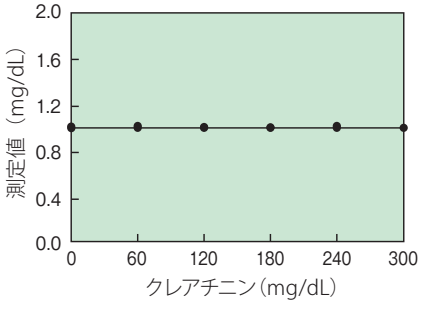








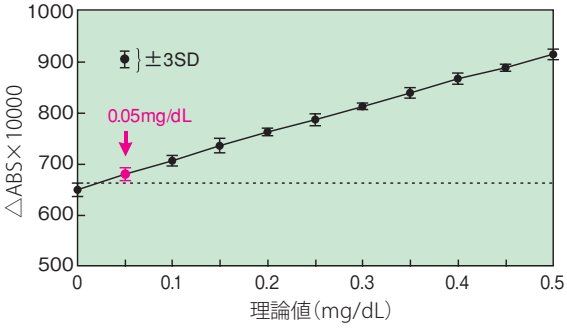




【参考基準範囲】

	随時尿 (mg/g・Cr)	1日蓄尿 (mg/24hr)	時間尿 (μg/min)
正　常	＜30	＜30	＜20
微量アルブミン尿	30～299	30～299	20～199
顕性蛋白尿	≧300	≧300	≧200

【検出限界】



Nittobo

キットの構成

構成		成分
R-1	緩衝液	トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタン
R-2	抗血清液	抗ヒトアルブミンヤギ血清

貯法・有効期間

貯法	2～10℃で保存
有効期間	製造後1年間

最終使用期限は容器ラベル及び外箱に表示。

参考文献

① A. Harmoinen, et al：Clinica Chimica Acta, 149, 269～274（1985）

② Mogensen, C. E：N. Engi. J. Med., 310, 356～360（1984）

③ 青木矩彦：ホルモンと臨床, 35, 1159～65（1987）

④ 日本糖尿病学会，科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010, 87-97（2010）

製造販売元： ニットーボーメディカル株式会社
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字塩島1番地

問い合わせ先 ニットーボーメディカル株式会社
TEL:03-4582-5420 FAX:03-3238-4590

MALBE-17042000-KC1